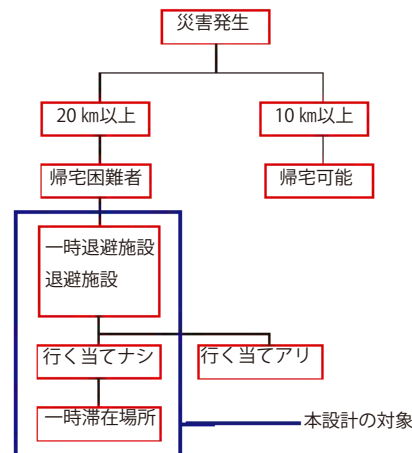


日常の延長

- いつの日か、に備えたホールの提案 -



・帰宅困難者に関わる用語



・敷地

名古屋市中区、金山駅から徒歩5分の場所を対象の敷地とする。

敷地面積

古沢公園 0.52ha (5,200 m²)

市民会館 14,205 m²



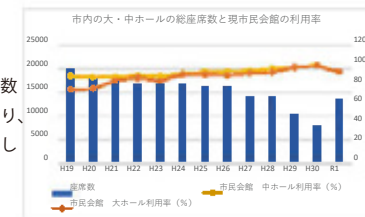
・背景

南海トラフ地震による帰宅困難者

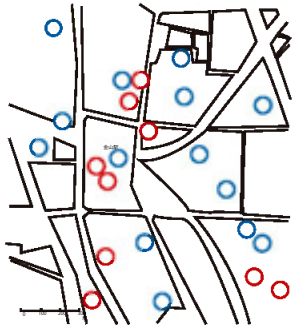
南海トラフ地震・首都直下型地震の発生率は、30年以内に60～70%と予想されている。それに伴い、愛知県の帰宅困難者数は、約85.8万～93万人、名古屋市内で約43.1万～48.3万人、金山駅周辺で最大1.7万人と推定されている。

Niterra 日本特殊陶芸市民会館について

名古屋市内では、ホールや劇場が相次いで閉館、改修工事を行い総座席数が減少している。そんな中、老朽化やバリアフリー対応などの問題により、たて替えに向けて動き出している。そこで、退避施設・一時滞在施設として利用できるホールとしての設計提案を行う。



・周辺の避難施設



一時退避施設

15カ所 約1.9万人

退避施設

8カ所 約0.39万人

内訳の算出

1人当たり1.65㎡とする。
地理院地図やGoogleマップ
を基に面積を算出した。

番号	施設名称	所有・管理	概要
1	金山駅	名古屋市	コンコース
2	古沢公園	名古屋市	空地
3	金山公園	名古屋市	空地
4	長岡公園	名古屋市	空地
5	波寄公園	名古屋市	空地
6	桜田公園	名古屋市	空地
7	正木南公園	名古屋市	空地
8	沢上公園	名古屋市	空地
9	花町公園	名古屋市	空地
10	池内北公園	名古屋市	空地
11	池内南公園	名古屋市	空地
12	葉塚公園	名古屋市	空地
13	高蔵公園	名古屋市	空地
14	正木公園	名古屋市	空地
15	向田公園	名古屋市	空地
合計			約19,000人

番号	施設名称	概要	内訳 (予想 1人当たり1.65㎡で計算)
1	イオンモール熱田	2階フードコート1部、2階従業員休憩所	約1,300人
2	金山南ビル		約110人
3	Niterra 日本特殊陶業市民会館	1階インターコモン1部	約506人
4	名古屋市音楽プラザ	1.2階供用ロビー	約28人
5	NTP名古屋トヨペット熱田店	1階供用ロビー	約290人
6	キング観光サウザンド金山店	1階ショールーム	約608人
7	JOYSOUND 金山店	3~11階駐車場	約50人
8	日本ガイシ株式会社 本社棟	1階ロビー、2階パーティールーム 本社棟1階ホール	約1060人
合計			約3,900人

・コンセプト

1. 災害時の滞在施設として3日間利用できる空間づくり

各階の一部を2層構造とし、スパンごとに木造のパネルを設置する。日常では、ゆるやかに空間をつなげる。非常時には、プライバシーの保護に寄与する。



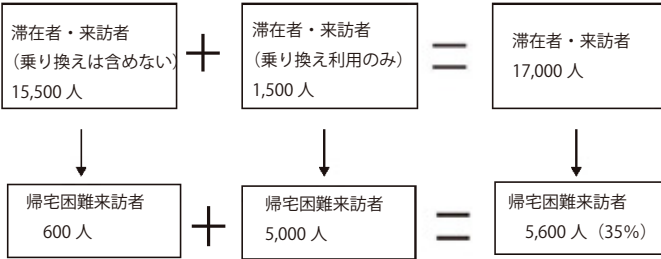
通常時



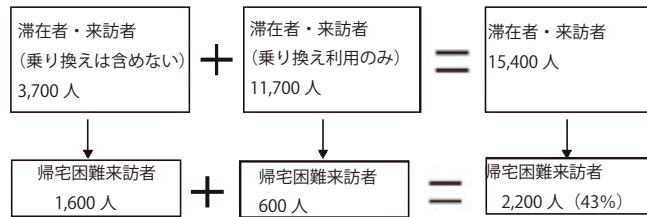
災害時

・避難者数の算定

平日午前11時(最大時)



平日午前8時(最大時)



これらのことから、退避施設の収容人数が不足している、と考えた。そのため、本計画では帰宅困難来訪者の収容人数約1000人を目指す。なお、1人当たりの床面積は、2㎡を目標とする。

・施設規模

大ホール
座席数 約2200人
避難人数 約400人
中ホール
座席数 約1500人
避難人数 約400人
小ホール
座席数 約900人
避難人数 約200人
合計
座席数 約4600人
避難人数 約1000人

敷地面積

古沢公園 0.52ha (5,200㎡)
市民会館 14,205㎡ 計19,405㎡
階数
大ホール B2~地上5階
中ホール B2~地上5階
小ホール B1~4階
(3.4階の天井高3h)

2. 古沢公園 地上の歩行空間、緑化の拡大

敷地内を自由に歩き回れるようにするために、様々な方向に歩道を設置。敷地の緑化と屋上庭園を採用。



南側 上から俯瞰



中庭

3. ホール 文化芸術の拠点となるスペースづくり

2階屋外通路の下の空間をまちかどで文化芸術に触れられる拠点づくりを目指す。また、900席程度のホールを新たに加えることで新たな文化に出会う機会を増やす。

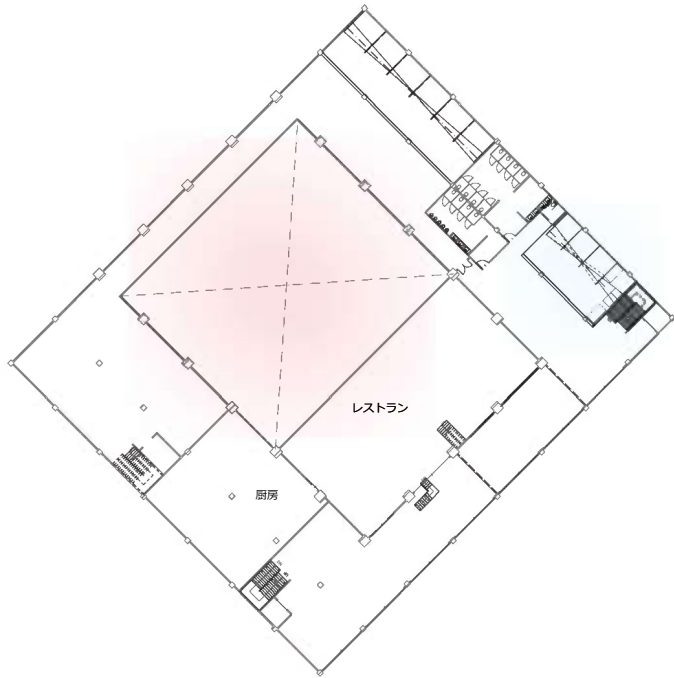


交流拠点



中の様子

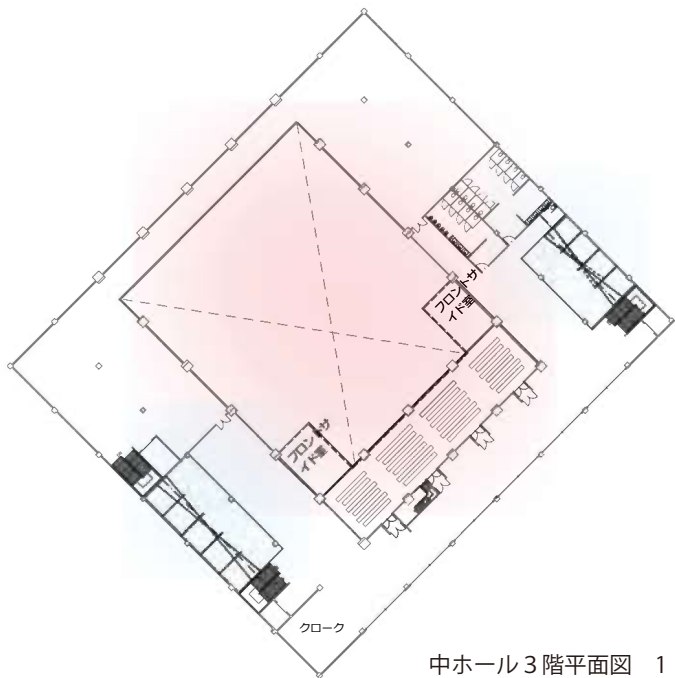
- ホール
- 避難
- 公共スペース



中ホール 4階平面図 1:300



中ホール
 主要用途 演劇、舞踊など
 伝統芸能から市民の文化活動や発表を想定

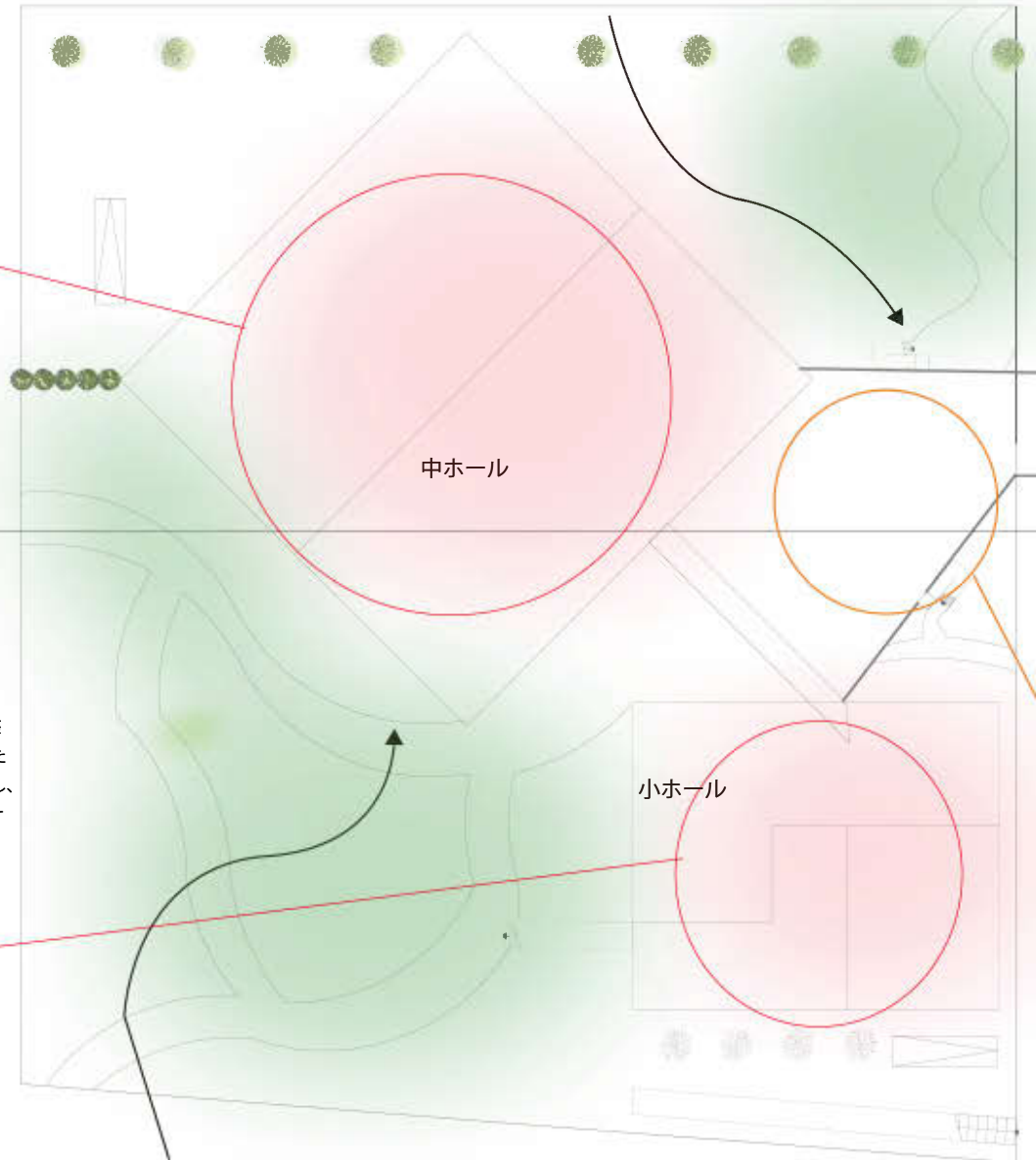


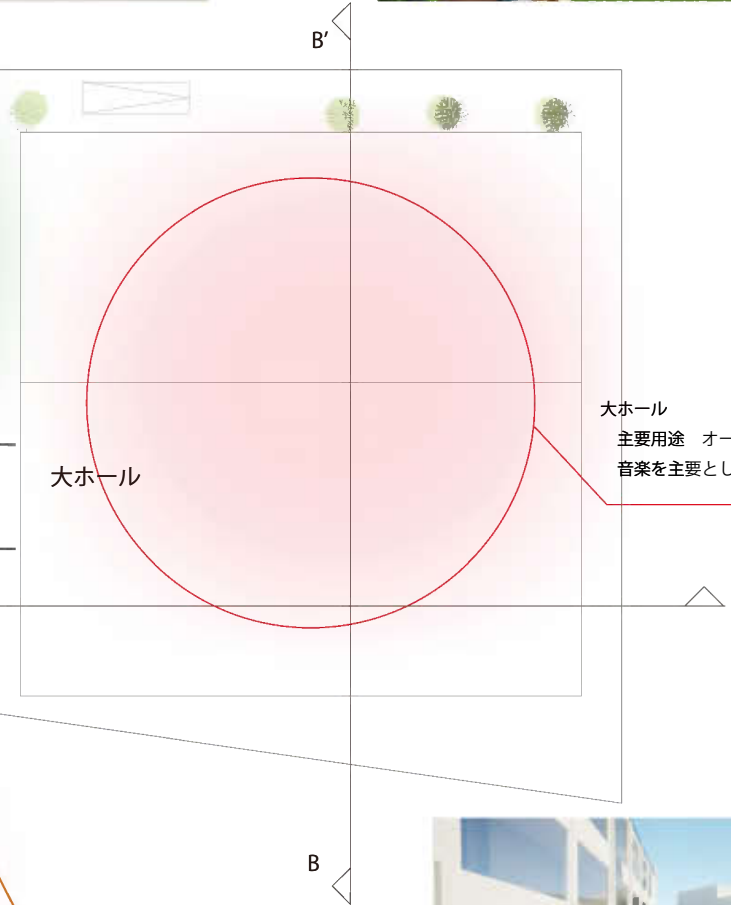
中ホール 3階平面図 1:300

小ホール
 主要用途 軽音楽、演劇、多様なジャンル
 体験型の演目を想定。

現在の市民会館中ホールの利用率で最も多い座席規模は600～900席。また、体験型に適した座席規模は800～900席とされている。しかし、市内には900席程度のホールは存在しない。そのため、新設したホールは900席程度とした。

出典：名古屋市新たな劇場の基本構想 p51 2022.2





大ホール

大ホール
 主要用途 オーケストラ、演劇など
 音楽を主要とした公演の利用を想定

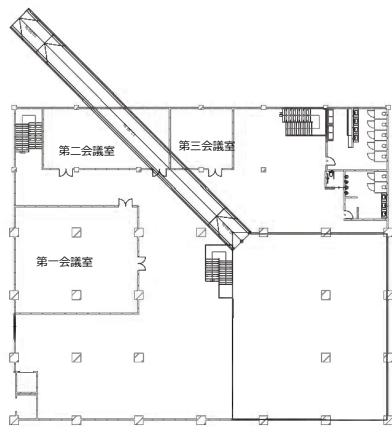
交流スペース

名古屋市市民会館で開催されている
 コンサートや演劇の情報発信スペース。
 市民会館だけでなく、県内で開
 催されているコンサートや演劇の開
 催情報を発信・共有を行なう。



公共スペースの様子

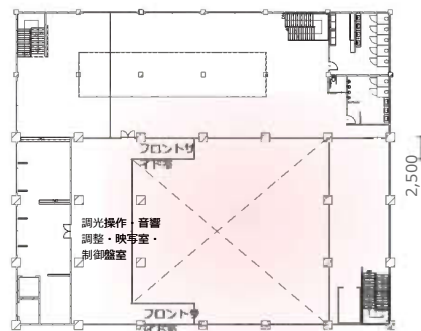
配置図 1 : 300



17,500

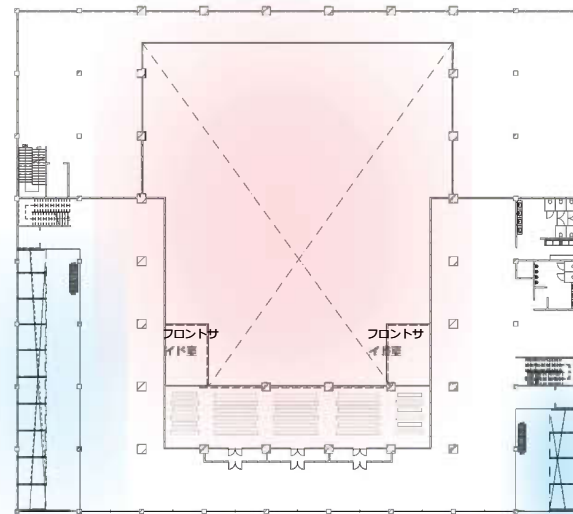
小ホール 4 階平面図 1 : 300

7,000 15,000
 22,000

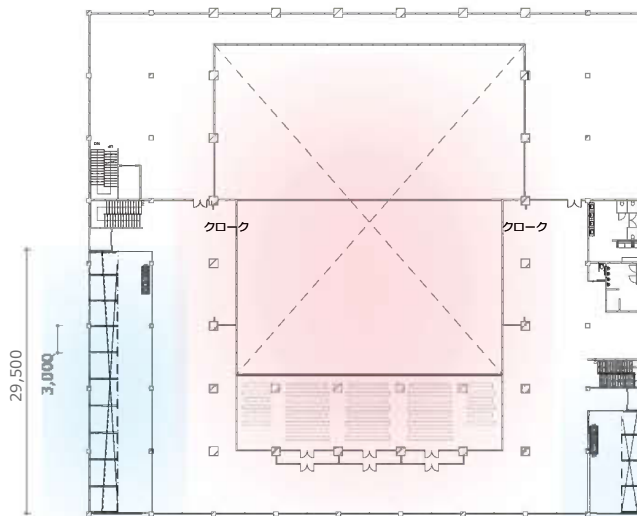


2,500

小ホール 3 階平面図 1 : 300



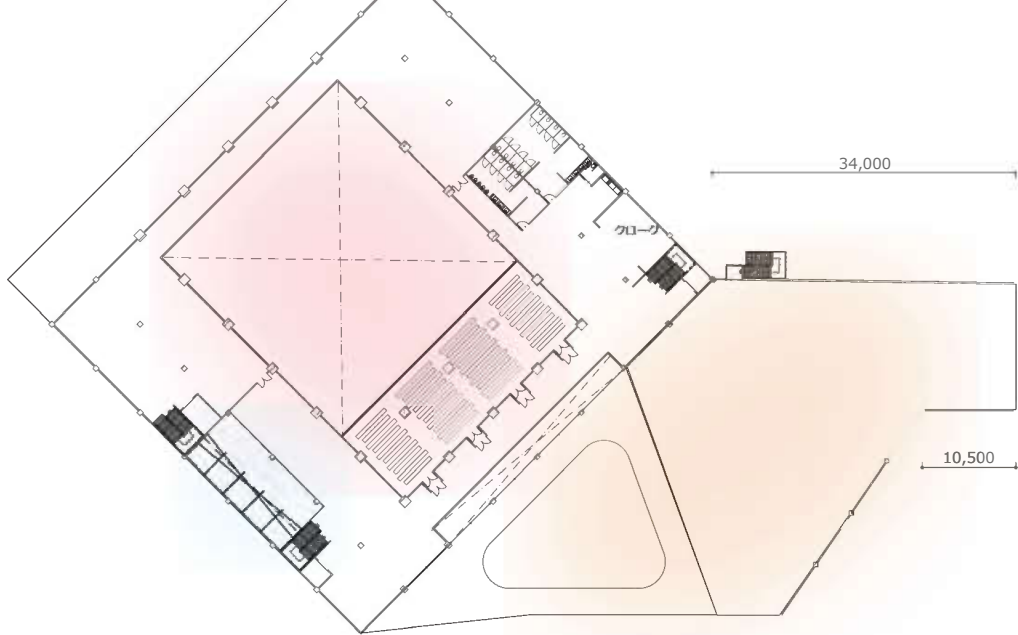
大ホール 4 階平面図 1 : 300



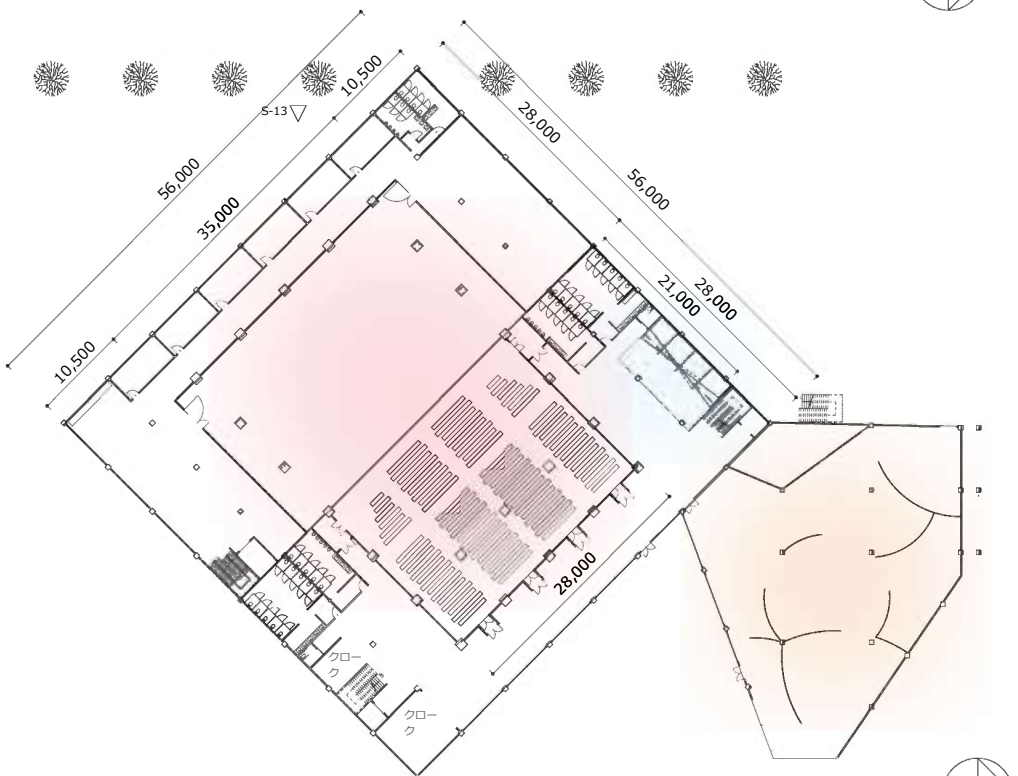
29,500

3,000

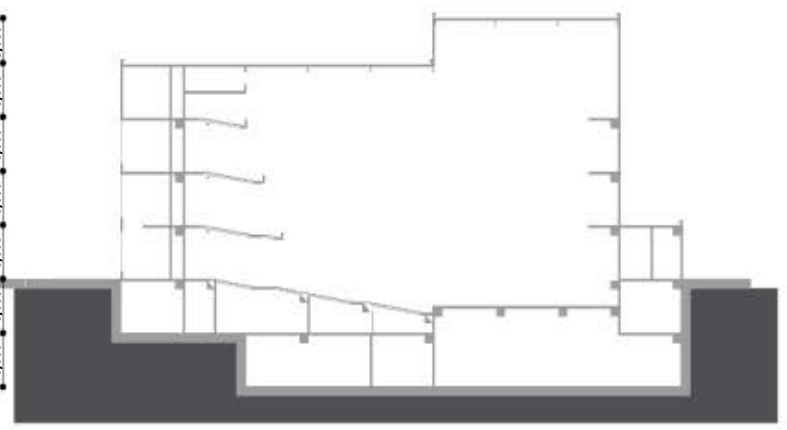
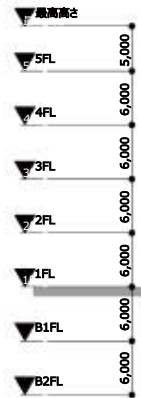
大ホール 3 階平面図 1 : 300



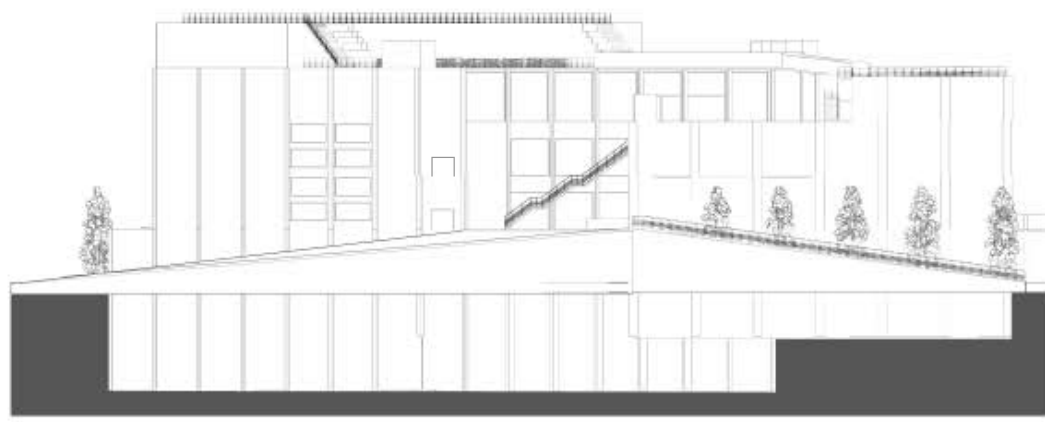
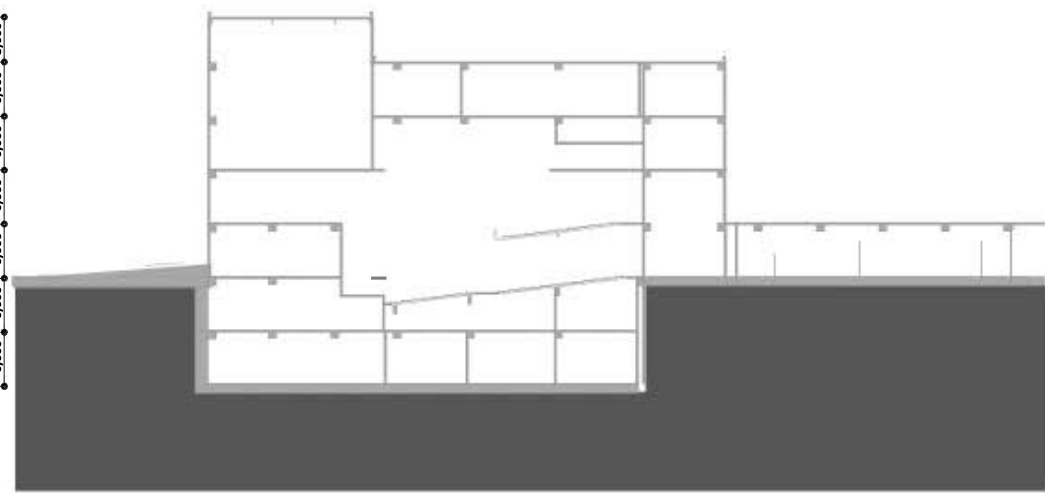
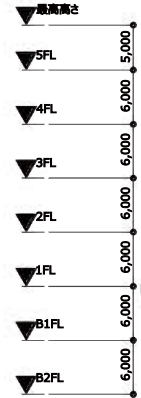
中ホール2階平面図 1:300



中ホール1階平面図 1:300

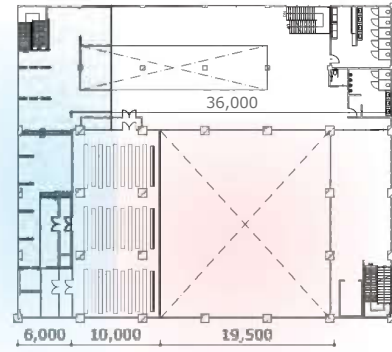


B-B' 断面図 1:300

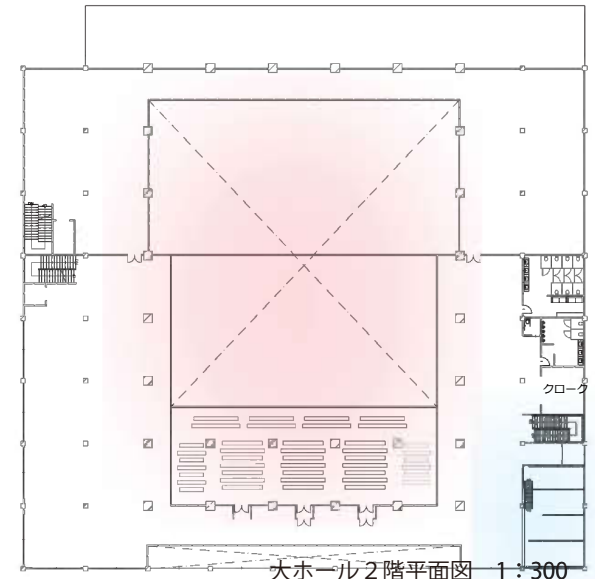




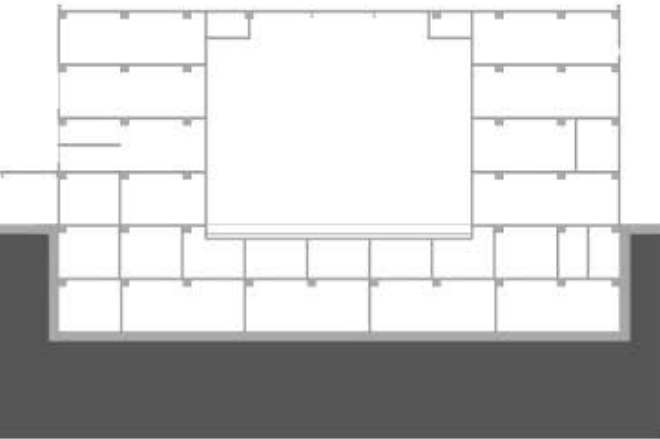
西側からの見え方



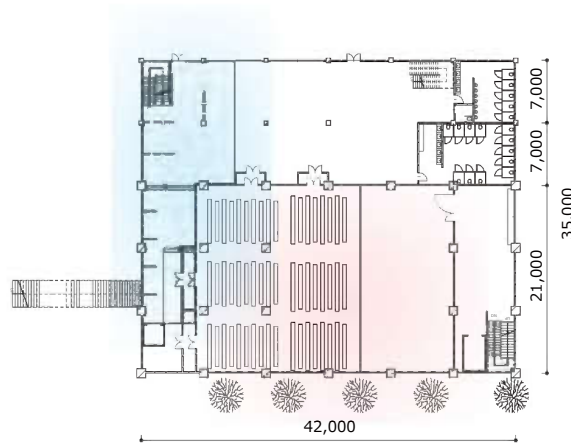
小ホール2階平面図 1:300



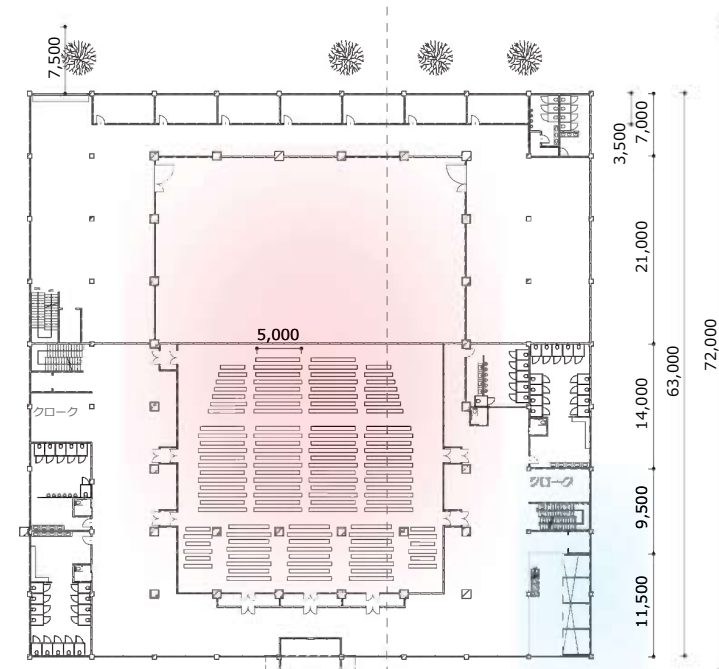
大ホール2階平面図 1:300



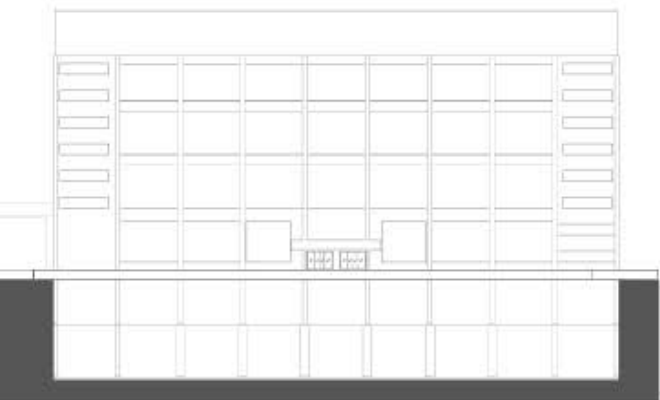
A-A' 断面図 1:300



小ホール1階平面図 1:300



大ホール1階平面図 1:300



東面立面図 1:300